

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和3年11月19日

和泉市長 あて

団体名 緑ヶ丘夏まつり実行委員会

代表者名 齋藤 公彦

所在地

電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	緑ヶ丘夏まつり
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	1,450,000 円 (うち、対象経費 1,100,000 円)
支援金 交付申請額	550,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい) ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	ミドリガオカナツマツリジッコウインカイ		
団体名	緑ヶ丘夏まつり実行委員会		
団体の目的	緑ヶ丘校区及び近隣校区に対して、夏まつりを核としたイベントの企画実行を通して地域の活性化を目的とする。		
市内事務所の所在地			
	電 話		F A X
フリガナ	サイトウ キミヒコ		
代表者氏名	齋藤 公彦		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) フリガナ ヤマモト テルヒコ	電 話	
	山本 照彦	F A X	
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	平成 23 年 4 月	主な活動地域	緑ヶ丘校区
会報等の発行	有 (回発行) ・ 無	会員数	40 人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	夏まつりの企画実行		
主な活動の実績	過去9回の夏まつり実施 令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症対策で中止		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)
	R1年	ちよいず	448,151
R2年	ちよいず	0 (コロナのため中止)	

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	緑ヶ丘夏まつり
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 緑ヶ丘校区及びその近隣は新旧の住宅地が混在し発展を続けている。住民同士の意思疎通の希薄化を防ぐ手立てとして、伝統的なイベントがないので住民発案で夏まつりを核とした交流を行っている。	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 シニア世代、子ども世代も参加する全世代型の夏まつりを企画実行する。世代間、地域間の協働、共生を実践の場での促進と孤独化緩和の一助とする。これによって、世代間、並びに地域の活性化を図る。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 模擬店、ハワイアン演奏の会場を住民パワーで設営、運営を行う。猛暑による熱中症、台風等による不測の事態にも対応できるように計画に織り込んでおく。 ・模擬店・・・桃山学院大学駐車場会場 ・夜店&ホールでのハワイアンライブ・・・自治会館会場	
②実施期間（日時）	令和4年8月6日(土)17時～21時（予備日 8月13日）
③ 実施場所	いずみ緑ヶ丘自治会館及び隣接の桃山学院大学駐車場
④ 主な対象者	緑ヶ丘校区及びその近隣校区住民
⑤ 参加予定者数	1500人程度
⑥ 告知方法	・緑ヶ丘校区の住戸並びに広告協賛者に約2000枚のチラシを配布し祭りの催しについて周知している。 ・その他、回覧、掲示板

5 事業スケジュール

時期（月）	内容
～11月	事業の在り方協議、事業企画・エントリー準備
11月末	事業申請
1～3月	実行計画の立案、出店者等の参加者募集、審査会
4～7月	出店者も含め実施計画、運営体制の調整・確立
8月	夏まつりの開催（8月6日）
9月	反省会実施、次年度企画検討

6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照

（実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）

① 公益性	<p>① 夏まつり後の反省会にて、参加者の反応、意見を集約しており、約 8 割が良かったとの評価、継続を望むものもほぼ同等である。</p> <p>② 家族連れの参加も多く、又運営も住民主体でオープン参加のため自然と交流の場を提供できており、世代間地域間の協働促進となっている。</p> <p>③ 世代間地域間の協働促進となり、住民同士の意思疎通の希薄化を防ぐことに繋がる。</p>
② 継続性	<p>④ 平成 26 年度より、市の支援（ちよいず）による夏まつりを継続実施しており、地元に着したイベントになっている。</p> <p>⑤ イベントに参加することで、他のことに関してもより住民の参加意識が高まる効果が見られる。</p> <p>⑥ 団体協賛金、事業収入、広告料で費用の大部分（約 6 割）を賄っている。</p>
③ 実行性	<p>⑦ 地域の核となるイベントになるよう地域の特性に合わせ自治会館を会場として催す。前年度実績等から事業計画、予算を立案している。</p> <p>⑧ 自治会及び子ども会、シニアクラブ、地域団体で実行委員会を組織し、事務局を自治会館に置くなどの管理体制を敷いている。</p> <p>⑨ 対象経費：110万円に対し、支援金交付申請額：55万円としている。収支のバランスもとれている。</p> <p>⑩ 毎月、委員会を実施し事業計画、予算について検討している。</p>
④ 協働性	<p>⑪ 桃山学院大学、緑ヶ丘小学校など緑ヶ丘校区近隣の団体に参加を呼びかけ、子ども遊び広場の催しなどに参加していただいている。</p> <p>⑫ 夏まつりの実行に当たっては、関係者による実行委員会で調整の場を持っている。</p> <p>⑬ 夏まつりの運営は、実行委員会のメンバー、参加団体の他、ボランティアも参加し住民主体としている。また、子どもからシニアまで世代を超えて交流することができる場となっている。</p>
⑤ 公開性	<p>⑭ 緑ヶ丘校区並びに近隣校区の住戸並びに広告協賛者に約 2000 枚のチラシを配布し夏まつりの催しについて周知している。</p> <p>⑮ 夏まつりの出店者募集は地域の活動団体に、運営ボランティアは住民に回覧等の募集により参加を呼び掛けている。</p>
⑥ 集客性	<p>⑯ 緑ヶ丘校区並びにその近隣より、子どもたちからシニアまで家族連れが多く来場し、毎年約千人超の参加者が楽しんでいる。</p> <p>大人向けと子ども向けとのゾーンに分け、幅広い世代が参加できるよう工夫している。</p>

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 緑ヶ丘夏まつり

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	550,000.-	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	350,000.-	夜店の売り上げ
自主財源	250,000.-	団体協賛金（自治会、子ども会等）
広告料	300,000.-	一般協賛の広告掲載（1口1万円）
合 計	1,450,000.-	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	200,000.-	ハワイアン演奏、フラダンサー等出演料 7万円2団体 参加賞6万円
消耗品費	400,000.-	段ボールゴミ箱、事務用品、消毒用品、 夜店食材
食料費	20,000.-	飲料水（200名分）
印刷製本費	20,000.-	全戸配布用チラシ 2000部（A3カラ ー両面）
役務費	10,000.-	行事保険、ごみ処理費
委託費	400,000.-	テント、机、イス、ベンチ設置／撤去、警備
原材料費	50,000.-	設営材料
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
消耗品費（対象 外）	50,000.-	景品
その他 （対象外経費）	300,000.-	設営・撤去費
合 計	1,450,000.-	
対象経費	1,100,000.-	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。